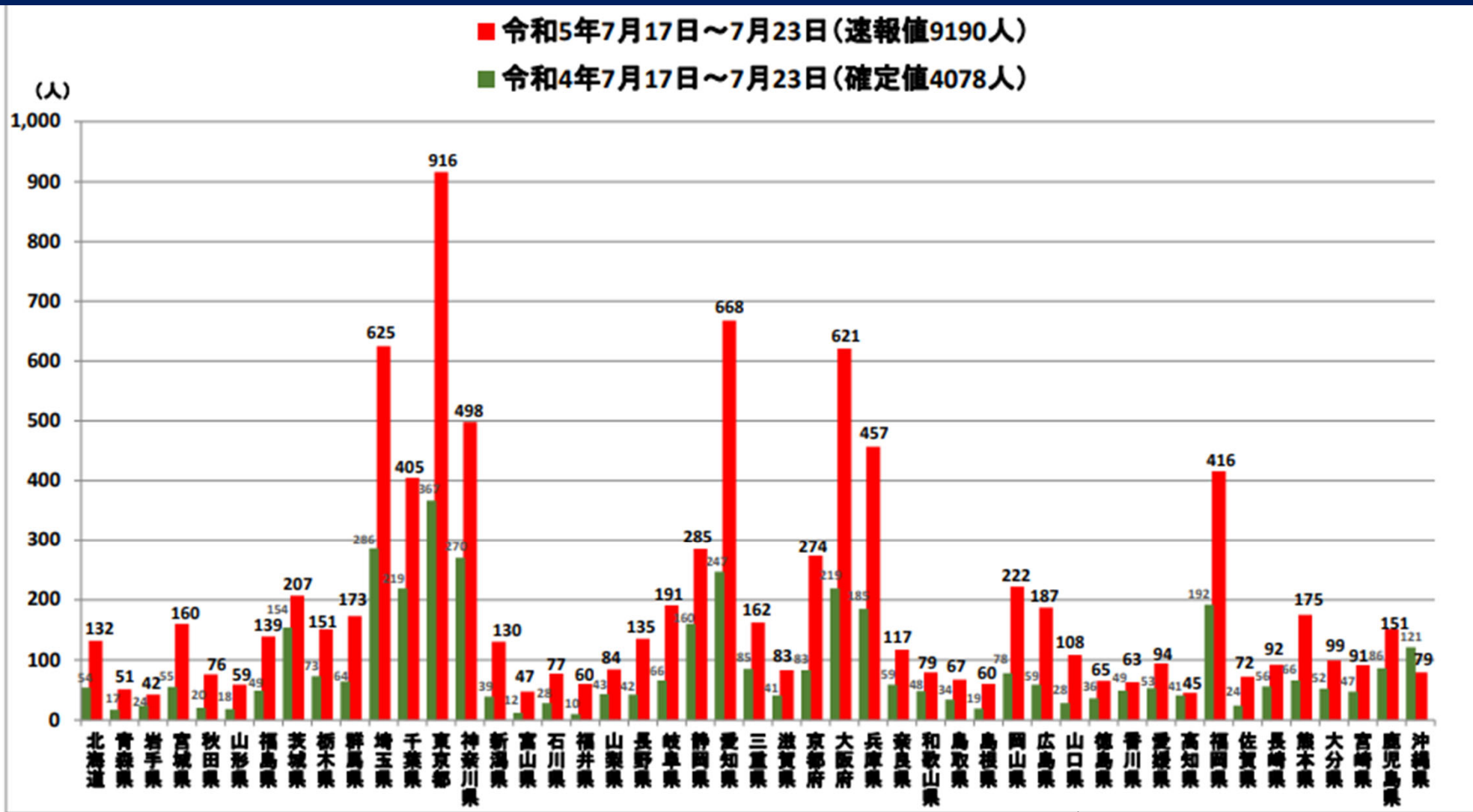


豪雨災害と熱中症について

2023年7月26日記者会見

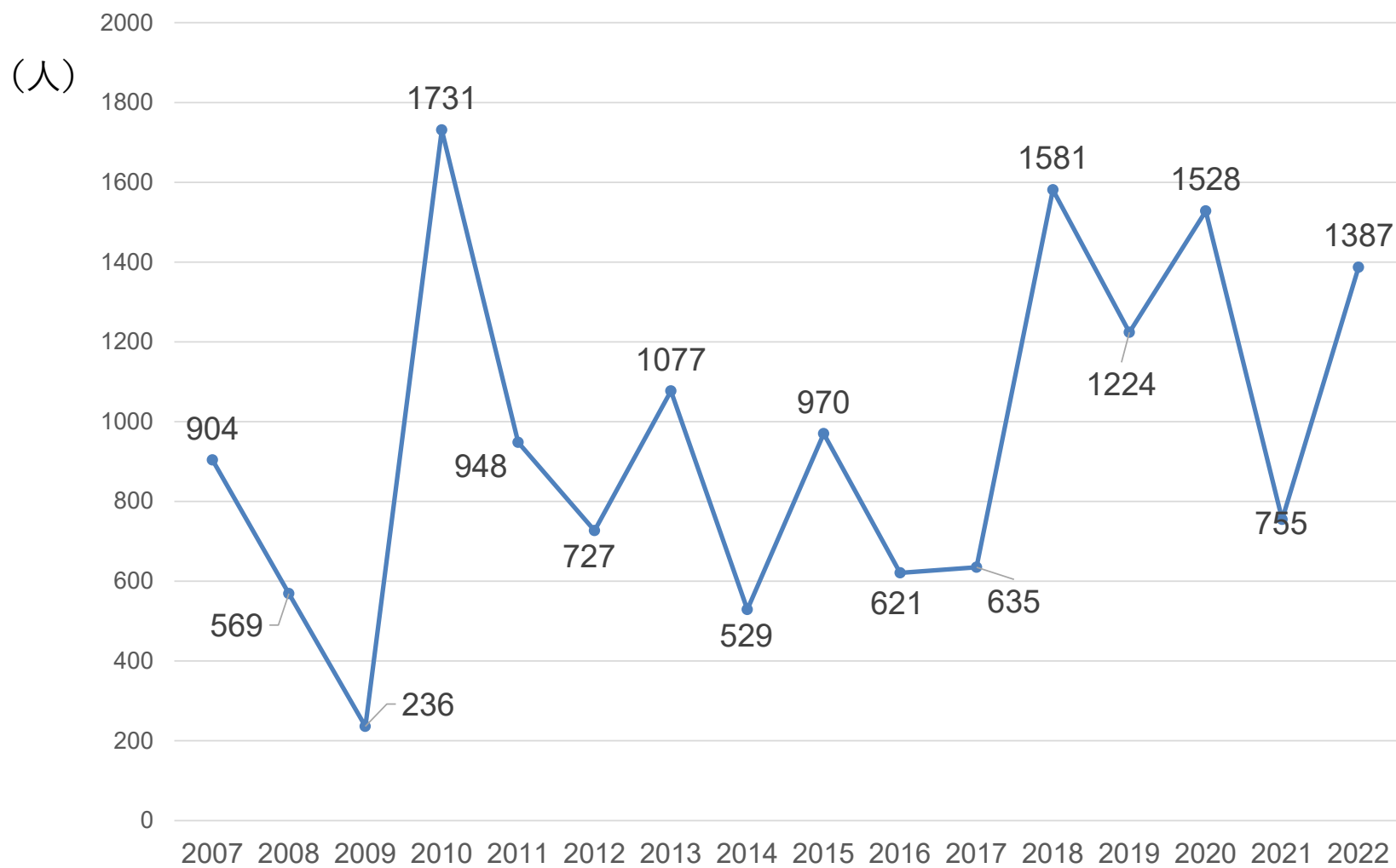


都道府県別熱中症による救急搬送人員 前年同時期との比較



総務省消防庁ホームページ

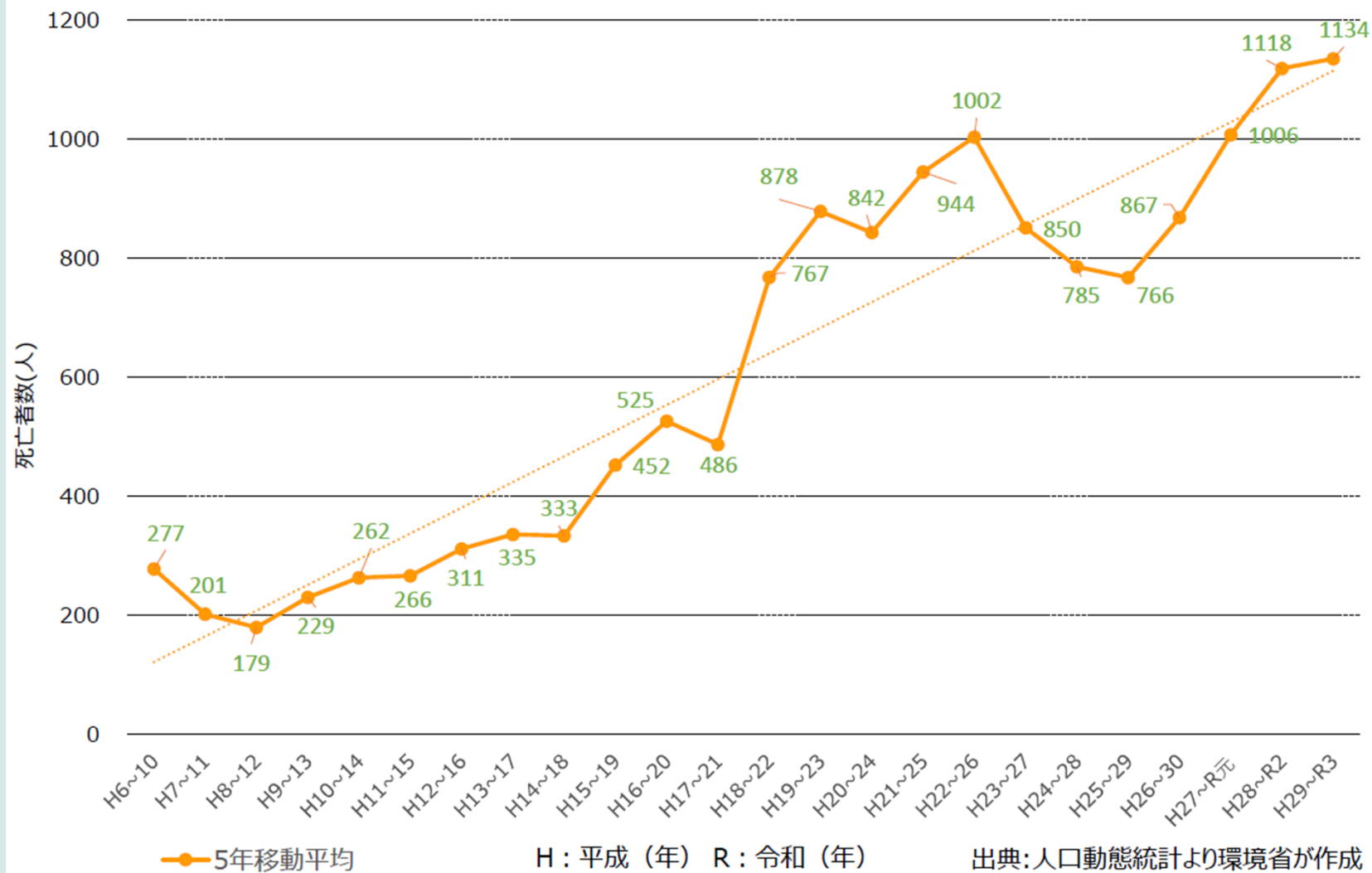
熱中症死亡者数



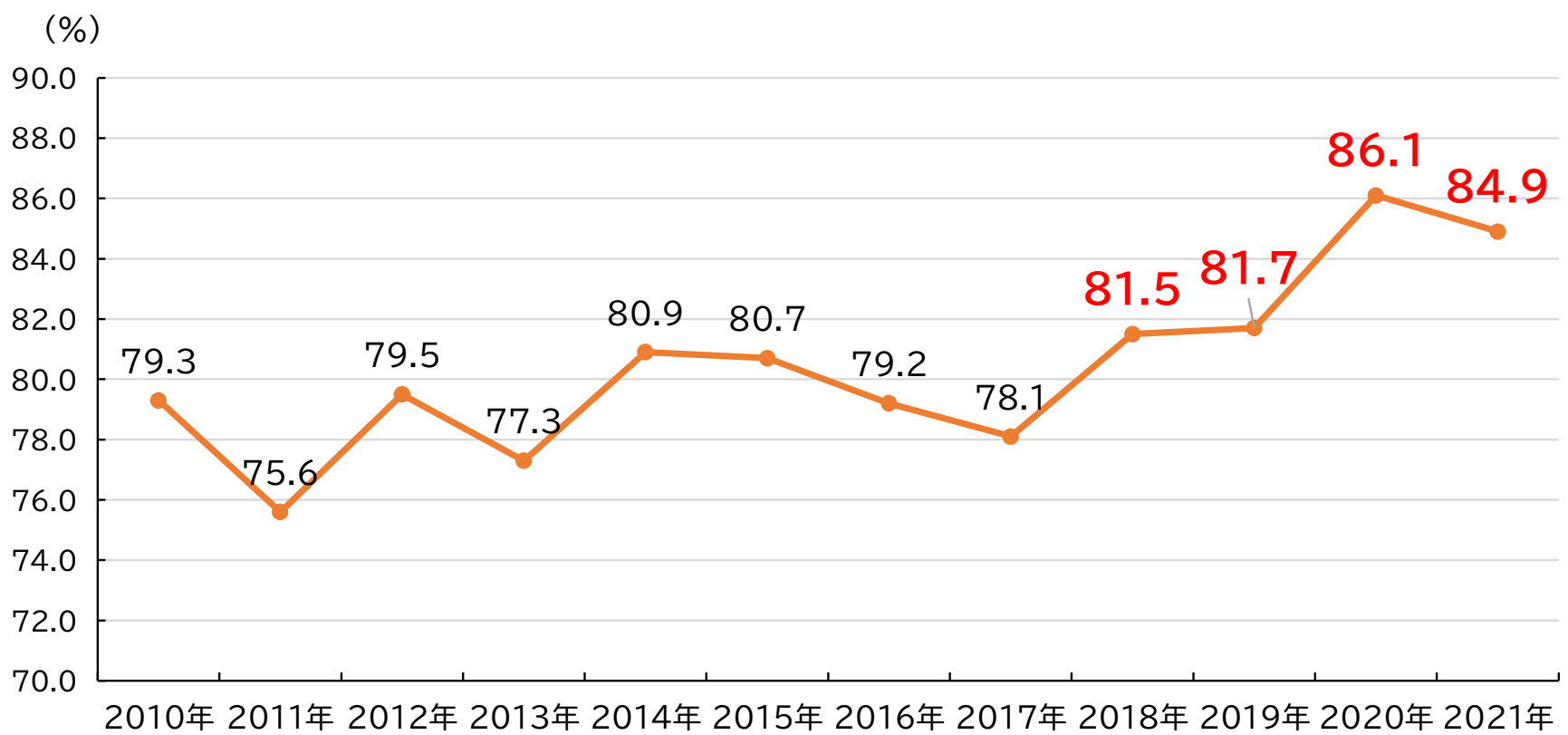
※2022年は6月～9月の合計

厚生労働省「人口動態統計」より作成

熱中症による死亡者の状況 5年移動平均（全国）



熱中症による死亡者数のうち65歳以上の占める割合



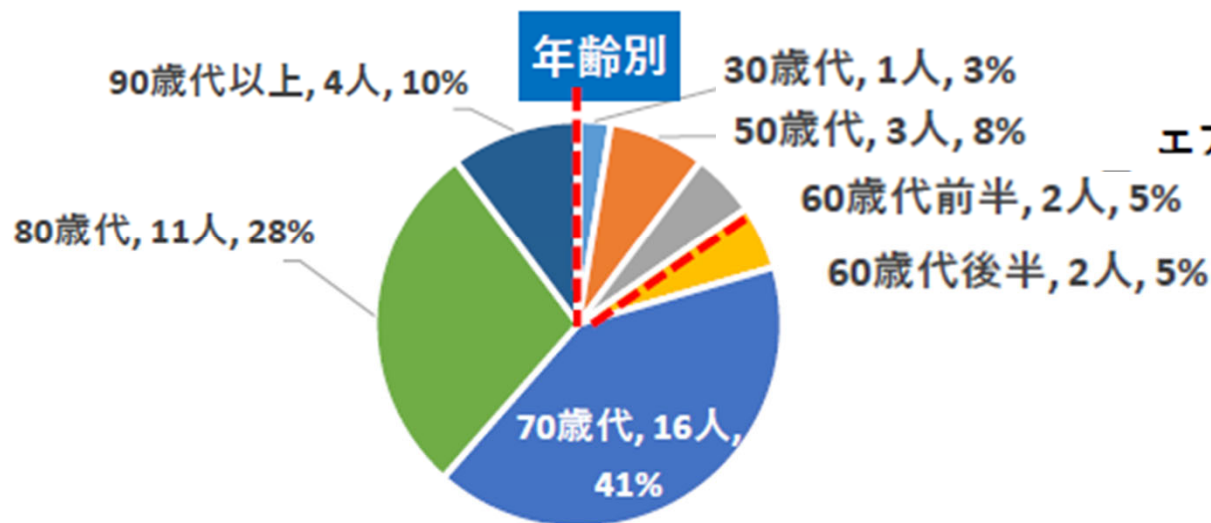
*厚生労働省「人口動態統計」より作成

東京都監察医務院（令和3年）

○令和3年10月31日検案時点までの東京都23区
における熱中症による死亡者**39人**
(東京都監察医務院の死体検案の速報値)

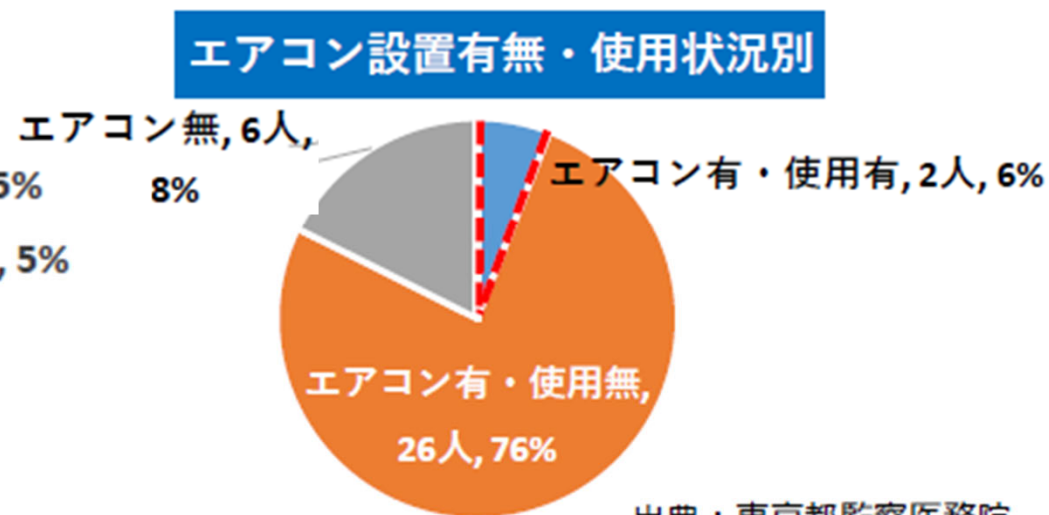
計39人（速報値）のうち

- ・ **8割以上は65歳以上の高齢者**



屋内での死亡者のうち

- ・ **約9割はエアコンを使用していなかった**



出典：東京都監察医務院

暑さ指数（WBGT） 日常生活に関する指針

暑さ指数 (WBGT)	注意すべき 生活活動の目安	注意事項
危険 (31以上)	すべての生活活動で おこる危険性	高齢者においては安静状態でも発生する危険性が大きい。 外出はなるべく避け、涼しい室内に移動する。
厳重警戒 (28~31) ※1		外出時は炎天下を避け、室内では室温の上昇に注意する。
警戒 (25~28) ※2	中等度以上の生活 活動でおこる危険性	運動や激しい作業をする際は定期的に十分に休息を取り入れる。
注意 (25未満)	強い生活活動で おこる危険性	一般に危険性は少ないが激しい運動や重労働時には発生する危険性がある。

日本気象学会「日常生活における熱中症予防指針Ver.4」（2022）より改編 ※3

WBGT33以上予測で熱中症警戒アラートが発表

環境省「熱中症予防情報サイト」

暑さ指数（WBGT） 運動に関する指針

気温 (参考)	暑さ指数 (WBGT)	熱中症予防運動指針	
35℃以上	31以上	運動は原則中止	特別の場合以外は運動を中止する。 特に子どもの場合には中止すべき。
31～35℃	28～31	嚴重警戒 (激しい運動は中止)	熱中症の危険性が高いので、激しい運動や持久走など体温が 上昇しやすい運動は避ける。 10～20分おきに休憩をとり水分・塩分の補給を行う。 暑さに弱い人※は運動を軽減または中止。
28～31℃	25～28	警戒 (積極的に休憩)	熱中症の危険が増すので、積極的に休憩をとり適宜、水分・ 塩分を補給する。 激しい運動では、30分おきくらいに休憩をとる。
24～28℃	21～25	注意 (積極的に水分補給)	熱中症による死亡事故が発生する可能性がある。 熱中症の兆候に注意するとともに、運動の合間に積極的に水 分・塩分を補給する。
24℃未満	21未満	ほぼ安全 (適宜水分補給)	通常は熱中症の危険は小さいが、適宜水分・塩分の補給は必 要である。 市民マラソンなどではこの条件でも熱中症が発生するので注 意。

※暑さに弱い人：体力の低い人、肥満の人や暑さに慣れていない人など

(公財) 日本スポーツ協会「スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック」(2019)より

WBGT33以上予測で熱中症警戒アラートが発表 環境省「熱中症予防情報サイト」

日本医師会YouTube 熱中症啓発動画

室内・夜間・涼しい日でも熱中症になる？

教えて！日医君！

日本医師会

日本医師会

日本医師会

日本医師会

日本医師会

夜間（就寝中）も
特に高齢者の方は注意してください！